

西脇市都市計画審議会の会議の記録

審議会等の名称	令和4年度第1回西脇市都市計画審議会
開催日時	令和4年5月31日（火） 午前10時00分～正午
開催場所	西脇市役所2階 委員会室
出席委員の氏名又は人数	高木 厚子 宮崎 隆 齋藤 太紀雄 藤原 秀樹 杉本 佳隆 高瀬 洋 坂部 武美 浅田 康子 藤原 廣司 今中 多津子 祖父江 宗利（代理） 波戸岡 誠
欠席委員の氏名又は人数	増岡 亮 1人
出席職員の職・氏名又は人数	副市長 藤原 良規（代理） （幹事） 技監 古川 雅一 建設水道部長 田中 浩敬 （事務局） 都市住宅課課長 吉田 尚史 都市住宅課主幹 植木 敬介 都市住宅課課長補佐 松原 正佳 都市住宅課主査 橋本 将 都市住宅課職員 藤原 真悠 （西脇多可行政事務組合） 事務局長 岸本 雅彦 資源循環課課長 西村 幸浩 資源循環課課長補佐 芝 和征 資源循環課主査 真鍋 俊哉 資源循環課主任 宮崎 公善 資源循環課職員 小谷 大樹 業務課課長 松原 永明 業務課課長補佐 高瀬 良尚
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	1人
議題又は協議事項	1 開会 2 市長あいさつ

	<p>3 会長あいさつ</p> <p>4 委員紹介</p> <p>5 協議事項 東播都市計画ごみ焼却場・ごみ処理場 (第2号 西脇多可ごみ処理施設)の変更 概要について</p> <p>6 その他</p> <p>7 閉会</p>
会議の記録 (概要)	
発言者	
事務局	1 開会
副市長	2 市長あいさつ
	○ 副市長退席
会長	3 会長あいさつ
事務局	4 委員紹介
事務局	○ 会議成立報告 事務局より、委員数13名中、本日の出席委員 数12名であり、出席者1 / 2以上となっている ことから西脇市都市計画審議会条例第5条第2 項の規定により本日の会議が成立する旨を報告
議長	○ 議事録署名人選出 浅田委員、宮崎委員の2名を本日の議事録署 名人に指名
議長	○ 会議の公開・非公開確認 議事運営規則第7条第2項の規定により、同 条第1項への該当の有無について協議し、非公 開内容は無いことが審議会において確認され、 本日の会議は公開することが決定された。
事務局	○ 傍聴定員の決定 事務局より、本日の傍聴希望者は1名である

事務局	<p>ことを報告。傍聴要綱第2項に定める定員以下のため、1名全員の入室が許可された。</p> <p>5 協議事項</p> <p>東播都市計画ごみ焼却場・ごみ処理場（第2号西脇多可ごみ処理施設）の変更概要について</p>
事務局 担当課	<ul style="list-style-type: none"> 資料1及び資料4に基づき、事務局及び担当課より内容説明
議長	<ul style="list-style-type: none"> 説明のあった内容について、委員の意見等を求める。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ごみ処理場は、地元の同意が重要であり、その同意もいただいたということである。しかし、野間川、杉原川等の下流にも関係集落があるため、意見を聞く必要がある。地元からは全て同意をいただいたということの良いのか。
担当課	<ul style="list-style-type: none"> 地元に関しては、西脇多可新ごみ処理施設整備基本計画（素案）や西脇多可新ごみ処理施設生活環境影響調査の結果も踏まえて、できるだけわかりやすく説明をさせていただいている。また、関係集落からは、各集落の総会の場において施設建設に関して了承する旨の決議もいただいている。さらに、関連して要望もあったが、関係集落の役員等と協議を重ねて合意をいただいている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 資料4の15ページに、新たなごみ処理施設の概要として施設規模は52.6 t / 日と記載されているが、現状のみどり園の施設規模は132 t / 日と記載されている。施設規模は小さい方が建設コストも当然安くなって良いと思う。一方で、施設規模があまりに小さすぎると、運用に支障が出る。計画している施設規模52.6 t / 日の根拠について伺いたい。

担当課	<ul style="list-style-type: none"> 将来人口の推計と1人当たりのごみ排出量の推計から算定したものである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 市長が資源化率50%を目指しておられるが、その点を配慮されているのか。西脇市と多可町が互いに努力目標値を同じ程度持って、計画している施設規模にしたという経緯があるのか伺いたい。
担当課	<ul style="list-style-type: none"> 厳密に言えば、資源化率50%は計画している施設規模 52.6t/日に反映されていない。今後、啓発や資源化の取組等を踏まえて資源化率50%を目指す計画内容となっている。また、西脇多可行政事務組合を含めた構成市町におけるごみ減量施策を一層推進していく中で、ごみの減量を進めていく必要があるものと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 資料4の33ページに記載されている西脇多可新ごみ処理施設生活環境影響調査結果に寄与濃度とあるが、実際に測定された数字なのか。あるいは、シミュレーション上の数字なのか。
担当課	<ul style="list-style-type: none"> 排ガスの自主規制値、つまりこの値を超えないように運転するという最大値を用いて、実際の風向・風速・地形的な条件を考慮し、シミュレーションを行っている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 新たにごみ処理施設の建設をきっかけに、何らかのごみ減量施策に取り組んではどうか。
担当課	<ul style="list-style-type: none"> 構成市町の環境担当ともよく調整しながら進めていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 新たにごみ処理施設ができることをきっかけとして、引き続き検討していただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 計画している施設規模は52.6t/日となっているが、現在回収しているごみの量はそれ以下になっているのか。

担当課	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度実績では、燃えるごみの量は13,101tとなっている。1年365日で割り戻すと、1日当たり約36tである。また、災害廃棄物に対応できるよう施設規模に対して10%の余裕を見込んでいる。実績と計算上の数字の誤差はあるが、計画している施設規模で十分処理できるものと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 炉が2つ計画されているが、どのような運転となるのか伺いたい。
担当課	<ul style="list-style-type: none"> ごみの量によっては、2炉とも運転する場合はあれば1炉のみの場合もある。点検整備を行う場合は1炉のみ、又は2炉とも数日間運転を休止する場合もある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントの回答において、温水供給できるようにしていきたいと回答されていた。温水供給を受ける施設は、ごみ処理施設の敷地内で建設されるのか。
担当課	<ul style="list-style-type: none"> 温水供給を受ける施設を余熱利用施設というが、その施設は新たなごみ処理施設の敷地外に設けられる予定であり、詳細は多可町において検討されている。なお、ごみ処理施設内でも温水を使用するが、非常に少ない量であるため、余熱利用施設を検討している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 余熱利用施設の建設は、多可町が計画を進めていくのか。
担当課	<ul style="list-style-type: none"> 現在、多可町において進められている状況である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 当初、水質の話題が多可町に対して出ていたと記憶している。多可町で水質の説明を行った際に、汚水及び雨水に関する質問は特になかったのか。

担当課	<ul style="list-style-type: none"> 加古川西部土地改良区とのやり取りの中で、水質に影響を及ぼすものではない旨を説明しており、理解をいただいているところである。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ごみを今以上に細分化してリサイクルするようなことは行わないのか。
担当課	<ul style="list-style-type: none"> 基本的には今までどおりである。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ただいまの意見等に留意して、都市計画決定に向けて、手続きを進めていただきたいと思います。
事務局	<p>6 その他</p> <p>○ 特になし</p>
建設水道部長	<p>7 閉会</p> <p>建設水道部長より閉会のあいさつ</p>